

平成29年度 松ヶ江北小学校便り

笑顔

学力特集号

平成29年11月10日
北九州市立松ヶ江北小学校

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	・全国平均正答率を上回りました。無解答はほとんどなく、あきらめずに答えようとする態度が見られました。 ・手紙などの書き方について苦手な傾向がありました。
国語B	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の、どの領域も全国平均正答率を上回りました。 ・問題の文章量が非常に多く、読みこなすのが大変であり、最終問題で無解答の児童がいました。
算数A	・全国平均正答率を上回りました。無解答は無く、速く、正しく答えようとする態度がみられました。
算数B	・全国平均正答率を上回りました。無解答はほとんどなく、最後まであきらめずに答えようとする態度がみられました。 ・最終問題「図形」の領域の正答率が低かったです。時間がなかったことも考えられます。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
・「休みの日、一日当たりどれくらいの時間、勉強していますか」という質問に対し、全員が勉強しており、長時間勉強している児童が多い傾向があります。また、「家で、計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対し、計画を立てて勉強していると答えた児童が全国平均を上回りました。これらのことより、日頃から、自分で計画を立て、継続的に学習を行っている児童が多いと考えられます。 ・「一日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか」や、「一日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」において、全国平均より多くテレビを見たり、ゲームをしたりする児童が多く、家庭での過ごし方に課題があると考えられます。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校は小規模校であり、様々な配慮を必要とする児童がいます。一人一人の児童を、教職員全員でしっかりと見取り、学習を進めていくことができるよう、共通理解を図っていきます。
また、少人数指導や専科指導などの積極的な活用を図って、さらなる学力の向上を図っていきます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

家庭学習チャレンジハンドブックの積極的な活用を呼びかけていきます。
「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が、しっかりと定着するように引き続き呼びかけていきます。
テレビの長時間視聴やスマホ・テレビゲーム等への依存の問題点などを、学校通信・学級通信・懇談会等で発信し、家庭での過ごし方について啓発していきます。

